

2. 各製品施工要領

◆パネリング

① 下地施工

- ・柱、間柱、胴縁は乾燥材で反り、曲がりのないものを使ってください。縦張りする場合は胴縁を 303 ～ 364mm 間隔で縦に施工し、横張りする場合は胴縁を 455mm 間隔で横に施工してください。

② 羽目板の取り付け

- ・天然木のため、一枚ごとに色調や木柄が異なりますので、施工する前に仮並べして色柄のバランスを確認することをお勧めします。その際、商品に不具合がないかご確認の上お使いください。
- ・パネリングを施工する箇所には 5.5mm 以上の合板を下張りしてください。
- ・下張りした合板の上に柱、間柱、胴縁の位置を墨出ししてください。
- ・下地に釘打ちしてパネリングを固定してください。反り等が発生しやすい場所に施工する場合は裏面にウレタン系の接着剤を塗布してください。
- ・パネリングを留める際は釘を主として使用し、接着剤は補助剤としてご使用ください。
- ・使用する釘は商品の 2 倍の長さの釘をお使いください。不燃木材は弱酸性の性質を持つ為、ステンレス製の釘をご使用ください。
- ・接着剤を使用する場合はボンド『KU928C-X（コニシ株式会社製）』をおすすめします。それ以外の接着剤を使用する場合はウレタン系の接着剤をご使用ください。
- ・湿度の変化による膨張、収縮が生じる可能性があります。環境に応じて実の入れ具合を調整してください。
- ・材の中央方向に向かって胴縁箇所へ釘を斜めに打ってください。

